ヤ

ツ

ユ

東京2020大会の

観

光振

興につなげる































## の 利 便 向

での対応状況について聞き 開催会場となる江の島周辺 興等につながると考える。 | ステム導入の説明会を開催 の増加が予想される中、キ で利便性が向上し、観光振 契機に今後も外国人観光客 ている。また藤沢市観光協 希望に大きく影響している ヤッシュレス化を図ること 出 東京2020大会を (市民クラブ藤沢) |洲鼻通りの店舗に対し、シ|ように生かしていくのか見 た取扱店舗が徐々に増加し の開催地である江の島及び |会でも、東京2020大会| ことが明らかになった。今 |数料も低いプランを提供し 一員には初期費用がなく、手 し、この取り組みに賛同し 所や観光協会、商店会の会

な課題であると捉えている。 の来訪者の増加に伴い、キ ャッシュレス化は大変重要| 本市では、外国から レス化を図れるよう調整を 制度を利用し、キャッシュ までも総合教育会議におい 質問 藤沢市観光センターもこの 行っている。

ているほか、江の島岩屋や り組まなければならない重

学力保障等は、市全体で取

答弁 今回の調査結果から

要課題と捉えている。これ

解を聞きたい。

後、この結果を市は、どの

鎌倉エリアにおける「キャ 工会議所が協働し、藤沢・ 藤沢商工会議所及び鎌倉商 総合教育会議で共有 子どもや家庭の課題

竹村 雅夫

# (民主・無所属クラブ) 本市の「子どもと子

に向け、決済システム導入 ッシュレスシティ」の実現

に対して、地域の商工会議

質問

松下 賢

質問

自転車利用者の利便性向上が望まれる江の島 空間における整備の進捗状 況と、あわせて江の島島内 向けて、3車線化が図られ 東京2020大会に (藤沢市公明党)

における駐輪スペースの事

入量増加に対応

ことから、江の島北緑地に 発注している整備工事の進 する200台分の駐輪スペ から借用するなどして供用 また江の島周辺には、県

な内容を聞きたい。 業用地拡張に向けた具体的

転車通行空間は、幅員1メ|クの設置を検討するなど、|駅前の対策を完了し、現在、 備している江の島大橋の自 整う予定と聞いている。 の車道走行について本年8 設置を行うことで、自転車|り組んでいる。 下旬までに一定の環境が トルが充てられ、矢羽根 |利用者の利便性の向上に取 対応が可能なサイクルラッ 長寿命化対策を実施 老朽化する下水道

(市民クラブ藤沢)

張できるよう調整している。 捗を踏まえ、事業用地を拡 の流入量増加が予想される | 老朽化がますます進むと考 | 2号汚泥焼却炉、藤が谷ポ の改修工事に伴い、自転車 りの年数が経過し、今後、 ースがあるが、江の島大橋 20年頃から設置され、かな 拡張については、 理区の一部の排水区ごとに、 は、管路については南部処 |えられるが、老朽化対策の|ンプ場受変電設備等におい |施設は浄化センター又はポ|の対策と並行. 取り組みについて聞きたい。 質問本市の下水道は昭和 

委員会と共有を図ってきた。 れているが、本市の見解を いては、市民や関係団体の 子どもの育ちや見守り、教 | の再活性化を図っている自 | されないよう配慮が重要と 聞きたい。 出し、育てていくことで町 政令市等で積極的に力を入 治体は非常に多くある。神 奈川県内でも横浜市を初め、

上に進めていく。 高まるなど、チームと地域 存在となり、 を与えるなど、地域の活性 答弁 本市にプロスポーツ スポーツ熱が

|状況が子どもたちの学力と 果を見ると、家庭の経済的 育て家庭の実態調査」の結

地域経済の活性化 プロスポーツ誘 致

て、教育大綱の策定に関す

る協議のほか、子どもの貧!

|課題や認識を共有し、子ど|に、子どもたちに夢や希望 もたちや子育て家庭に寄り 育会議等を通じて市全体で | に一体感が生まれるととも 笑顔あふれる幸せなまちを 政策の方向性について教育 添う取り組みをこれまで以 つくるため、今後も総合教 が優しく手を差し伸べ合う プロスポーツ選手が身近な きる力を育み、全ての市民 チームを誘致することは、 マとして協議を行い、教育 る取り組み、地域における て未来や目標に向かって生 子どもたちが学びを通し 員の働き方改革等をテー

しかしプロスポーツ等の大

直人 (市民クラブ藤沢)

|ードで進んでおり、プロチ|っての定期的な施設確保な|までに市街化区域は、土地|つなげていく。

**ム誘致や、その地で生み**|どが必要となることから、|区画整理事業等の大規模開 |市民のスポーツ活動が制限 欠になると考えている。 スポーツチームの誘致につ 気運の高まりと理解が不可 考えている。 これらのことから、プロ め、産業の誘致や良質な住 |発による都市基盤整備を進

佐野 北部 ポテンシャル活かし 地 域の 振

|化や潤いを生み出す源とな|交通網、また複数の大学の 会が開催できるスポーツ施 高められると考えるが、北 期待されると考えている。|ルは非常に高い。これらを り、さまざまな経済効果が|**立地等、地域のポテンシャ**|森と森をつなぐフットパス、 部振興につながるまちづく 活用し、まちの付加価値を | 質問 本市の北部地域は、 豊かな自然環境や広域的な (ふじさわ湘風会)

ングエコノミー検討会議

方、政府はシェアリ

や規制改革推進会議を設

自家用自動車を用

|るプロ化が目覚ましいスピ|の課題や、また活動に当た| ちづくりについては、これ 各種スポーツにおけ | 意形成、関係団体との調整 | 答弁 | 本市の北部地域のま |用地取得、近隣住民との合|りについて聞きたい。 設を新たに整備するには、 を着実に進め、

地域振興に

イドシェアを含めた検討

議論を行っている。 ライドシェアについて

いて有償で運送を行うラ

興 |と捉えている。北部地域の の改善に資する重要な事業 の活性化や市民の生活環境 下水道事業の推進は、地域 **| 窪谷における公園の整備や** 組んでいる。また、遠藤笹 |配慮したまちづくりに取り あり、いずみ野線延伸によ 多くの自然が残り営農環境 ヤルを活かし、 産業の森など、自然環境に り設置される新B駅周辺で ら、農業を生かし、環境と 一に優れた地域であることか 共生するまちづくりを進め 一方、市街化調整区域は、 自然環境や地域のポテンシ ている。現在は都市拠点で もある健康と文化の森や新 地の供給を行ってきた。 まちづくり

ながら、タクシーの安全

されるライドシェアについ

| 園児の保護者との間に大

の意義を損なうことが懸念 | 外された場合、幼稚園通

対応をより効果的に進め

市場特有の供給過剰への

シー特措法は、タクシー れた、いわゆる改正タク

性やサービス水準を一層

向上させることを目的と

応を行うよう強く要望する。|まれ、制度の基本理念と |ては、十分慎重な検討・対|きな経済的負担格差が生

)幼児教育・保育の無償化

逆行することになる。

している。

| 台分の増加を想定している | ンプ場ごとに、それぞれ長 ほか、近年利用者が多くな 寿命化計画を立案し、事業 |小田急江ノ島線片瀬江ノ島 続性と効率性を高めていく。 進め、より一層、事業の継 ジメント実施方針の策定を |体を網羅したストックマネ

|国道134号沿いの対策工 事を実施している。なお、 2020につなげる 健康ポイント事業

の小中特別支援学校や市内 を全戸配布し、市内の全て きを掲載したパンフレット る本年7月下旬に応募はが 待し、開会の1年前に当た で広く市民の方の参加を期 っては、子どもから大人ま

施設等での配布を行うこと

申込期間は8月から令和

長寿命化計画が策定されて

久代

れまでに辻堂浄化センター 一の対策を行っていく。 田ポンプ場等からの圧送先 るようオリンピックカレン 先的に重要箇所の対策を進 いない箇所についても、優 めており、令和元年度は今 また施設については、こ さらに今回、東京2020 ピックムーブメントが広が ダーを提案し、好評だった。 延伸のためにインセンティ 大会を契機とした健康寿命 質問以前、市民にオリン (藤沢市公明党) 関連グッズ等を景品として 景品の発送を予定している。 抽選を行い、2年7月頃に ンティブについては、大会 2年3月末までで、インセ おり、応募者多数の場合は で調整している。

|施していく。さらにこれら|な進捗状況を聞きたい。 元年度は大清水浄化センタ ーの長寿命化対策工事を実 対策を完了した。令和 |施されるようだが、具体的 チャレンジ2020」が実 ブを付与する事業として、 健康ポイント「ふじさわ夢 賛で準備を進めている。 景品は、東京2020大会 パートナー企業等からの協

なお、インセンティブの

市の見解を聞きたい。

本事業の周知に当た

| | 私の夢カレンダー|

高齢者を初めとする地域住

また本事業は、増刷する

2件を政















|さらに改正タクシー特措法|が無償化制度の対象から に極めて大きな懸念があり、 は、道路運送法に抵触する | 似施設はそれぞれの園独 対し、利用者の安全・安心 タクシー類似行為に該当す よって、国会及び政府に 自の特徴を持ち、幼児教 から、無償化制度の対象 に含めるべきと考える。 育に取り組んでいること 趣旨に反し、大変不公平 な制度である。幼稚園類 に適切に配慮するという 護者の経済的負担の軽減 ように支援し、子供の保 幼稚園類似施設通園児

対する慎重な検討を求め

○ライドシェアの推進に

る意見書

るとの指摘がある。

平成26年1月に施行さ

制度の基本理念である全て | 要望する。 幼児教育・保育の無償化制 |象とするよう求める意見書||幼児教育・保育の無償化 制度に幼稚園類似施設も対 の子供が健やかに成長する 象から外されていることは、 度から幼稚園類似施設が対 本年10月から実施される |基準を見直すよう、 象となるように、早急に |施設の園児も無償化の対 制度に関し、幼稚園類似 よって、政府に対し、 (以上、要旨を掲載)

掲載も予定し、大会に向け | 民が徒歩や公共交通により、 た気運醸成につなげていく。 暮らしや福祉充実を 村岡新駅の設置 |商業、医療、生活利便施設 一である。 る環境を整えるまちづくり などに容易にアクセスでき

はやめるべきと考えるが、 充実であり、村岡新駅設置 祉の拠点、暮らしや福祉の | **ムや認可保育園、公営住宅** | もたらすインパクトやポテ |き姿は、特別養護老人ホー | **質問 村岡地区の目指すべ** | 以上新駅が整備されていな などをつくることによる福 | ンシャルを享受しながら、 (日本共産党藤沢市議会議員団) 一つながる施策であると考え 東海道本線においては90年 成でき、持続可能な発展に |本市の新たな都市拠点を形 |い中で、東海道本線の駅が また、JR東日本管内

ラスネットワークによって、|市と連携して取り組んでい 会を見据えたコンパクトプとから、引き続き県、鎌倉 |集積を図り、少子超高齢社|り組みの一つとしているこ 駅を中心とした都市機能の 岡地区のまちづくりは、新 **合弁** 村岡新駅の設置と村 土の形成のための重要な取 |立と連携による活力ある県 ている。 神奈川県においても、自